

令和6年度 シラバス

教科	数学	科目	数学B	必修・ 選択	単位数	2
教科書・副教材等	改訂版 新 高校の数学B (数研出版)					
学習の目標	ベクトル、数列について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。					
評価の観点	<ol style="list-style-type: none"> 1 関心・意欲・態度 ベクトル、数列に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。 2 数学的な見方や考え方 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、ベクトル、数列における数学的な見方や考え方を身に付けている。 3 数学的な技能 ベクトル、数列において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 4 知識・理解 ベクトル、数列における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。 					
評価の方法	上記4つの観点について、授業への出席状況、授業中の態度、課題等の提出状況、発表の仕方や内容、定期考査等から総合的に評価を行う。					
	単元			主な学習内容		
前期	第1章 ベクトル 第1節 平面上のベクトル <ul style="list-style-type: none"> ・有向線分とベクトル ・ベクトルの加法・減法 ・ベクトルの実数倍 ・ベクトルの成分と演算 ・ベクトルの内積となす角 ・内積の性質 ・位置ベクトル ・ベクトルと図形 第2節 空間のベクトル <ul style="list-style-type: none"> ・空間の座標 ・空間ベクトル ・空間ベクトルの成分 ・空間ベクトルの内積 			<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルが向きと大きさのみで考えられるものであることを理解し、活用できるようにする。 ・ベクトルの基本的な演算や、内積について理解できるようにする。 ・ベクトルを用いることで、図形に関する問題が解けることを理解する。 ・空間においても座標を考慮ことができ、ベクトルも空間において、平面のときと同様に扱えることを理解する。 		
後期	第2章 数列 第1節 数列とその和 <ul style="list-style-type: none"> ・数列 ・等差数列とその和 ・等比数列とその和 ・和の記号 Σ ・階差数列 第2節 漸化式と数学的帰納法 <ul style="list-style-type: none"> ・漸化式と一般項 ・数学的帰納法 			<ul style="list-style-type: none"> ・数列の規則性を見出し、一般項で表すことができるようにする。 ・様々な数列の一般項の公式や和の公式を覚え、活用できるようにする。 ・数学的帰納法を用いて、自然数に関する命題の証明について考える。 		